

オランダの世界遺産運河の護岸改修 PJ 商業化フェーズも好調なスタート

本格施工第一弾の現場がゼロエミッション化のモデルケースとして注目

株式会社技研製作所（本社：高知市、代表取締役社長 CEO：大平厚）のグループ企業・Giken Europe B.V.（技研ヨーロッパ）と、オランダの建設会社の Gebr. De Koning B.V.（デ・コーニング社）、Van Gelder B.V.（ヴァン・ゲルダー社）で構成される合弁会社「G-Kracht B.V.（ジークラフト ビー・ブイ）」は、オランダの世界遺産「アムステルダムの環状運河地域」における護岸改修のための新技術開発プロジェクトにおいて、パイロット施工を経て、工事が本格化する商業化フェーズでも順調に進行しています。本現場では、施工機械や圧入システム、それらの動力源であるパワーユニットまでフル電動化を実現。圧入現場のゼロエミッション化を叶えるモデルケースとして、注目を集めています。

世界遺産の景観保護を重視した厳しい環境制限下において、商業化フェーズの前段となったパイロット施工（延長 208m、2023年7月完工）で得たノウハウをフルに投入し、現在工事を進めています。2032年までに計 3.3 kmの受注を予定しており、以降も本プロジェクトでは約 200 kmにもわたる区間で改修が必要とされていることから、長きに及んで継続的な収益確保が見込めます。

6月に実施した現場見学会には、エンジニアリング会社を中心に 16 団体、26 名が参加。現場管理者による説明の最中、施工は迅速かつ静かに進み、杭打ちが完了したことに気づかない見学者も見受けられました。工法普及には実物を見せることが非常に効果的であり、今後本件を絶好のショーケースとして、欧州における一層の事業展開に活かしてまいります。

※ 過去のニュースリリースもご覧ください。（<https://www.giken.com/ja/news/release/gkn25nw005ja/>）





着工前の現場



施工中の様子



周辺環境への影響を抑えた省スペース施工



現場見学会の様子



フル電動化したシステム施工で、静かに工事が進行

■ 施工中の様子（動画）

<https://vimeo.com/1101708372>

■協定、工事概要

協定名	AI2018-0423 Innovatiepartnerschap Kademuren G-kracht B.V. (アムステルダム市運河護岸イノベーションパートナーシップ (AI 2018-0423))
協定者	オランダ・アムステルダム市と G-Kracht B.V. <G-Kracht B.V.構成社> ・ Giken Europe B.V. ・ Gebr. De Koning B.V. ・ Van Gelder B.V.
工事名	AI2018-0423-KBW-0102 & KBW-0103 Innovatiepartnerschap Kademuren (AI 2018-0423-KBW-0102 & KBW-0103 アムステルダム市運河護岸イノベーションパートナーシップ)
工事場所	Kloveniersburgwal 23A, 1011 JV Amsterdam
元請業者	G-Kracht B.V.
施工業者	G-Kracht B.V.
使用機材	ジャイロパイラー™ GRV0611e、クランプクレーン™ CB2-11
杭材型式・寸法	鋼管杭 192 本 (直径 508 mm、長さ 14.34~14.94m)
圧入工工期	2025 年 5 月~9 月 (予定)

■技研グループ概要

「圧入原理」を世界に先駆け実用化した杭圧入引抜機「サイレントパイラー™」を製造販売し、その優位性を生かしたソリューションを提案・実践しています。無振動・無騒音、省スペース・仮設レス、地震や津波、洪水に耐える粘り強いインフラの急速構築——。圧入技術が提供するオンリーワンの価値は、世界の建設課題の解決や国土防災に貢献しており、採用実績は 40 以上の国と地域に広がっています。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社技研製作所 広報担当：林
高知本社／高知県高知市布師田 3948 番地 1
TEL：088-846-6783（平日 8：00～17：00）
E-mail：info_plan@giken.com
ホームページ URL：<https://www.giken.com/ja/>